



真室川町 野々村のため池

# 最上エコポリス通信

— mogami ecopolis tsushin —

2023年12月号

山形県最上総合支庁 隔月発行

最新情報はX(旧ツイッター)でご覧ください



## より良い地域づくりを目指して！知事と若者が意見交換

10月18日、“鮭川村農村交流センター”において、「知事と若者の地域創生ミーティング in 鮭川村」が開催されました。元木村長の司会のもと、若者9名と吉村知事が意見を交わしました。

参加者からは、「海外はキノコの値段が高い。種類が豊富な鮭川村のキノコを商品開発し、デザインして売り込んでどうか。」など様々な発言がありました。

最後に知事が「このつながりを今後の活動に活かして、鮭川村の良さを伸ばし、伝えて、益々住みやすいところにしていただきたい。」と激励を送りました。



11月8日には、“おらだずの宿りんどう”において、「知事と若者の地域創生ミーティング in 最上町」が開催されました。高橋町長の司会のもと若者8名と吉村知事が意見を交わしました。

参加者からは、「市場に出回らない規格外の野菜を、フランスのマルシェのように販売するなど、地域の消費者が地産地消できる仕組みができないか。」など様々な発言がありました。

最後に知事が「今日が始まりということで、みなさんは非これからも集まる機会を設け、この地域を活性化させていきたい。」と激励を送りました。

[総務課 29-1360]

## 令和5年度第2回最上地域議員協議会

11月20日、最上総合支庁において、第2回最上地域議員協議会が開催され、最上地域選出の4名の県議会議員の出席のもと、最上地域における最近の状況や課題について審議が行われました。

審議に先立ち、最上総合支庁長から管内の状況についての説明があり、その後、議員と10月に移転開院した県立新庄病院の利用状況、東北農林専門職大学学生の地域での受け入れ、県道の除雪の状況、道路の整備見通し、河川支障木等への対応、ソーシャルスクールワーカー（SSW）・スクールカウンセラー（SC）の活動状況など、各分野にわたって意見交換が行われました。 [総務課 29-1211]



## 高規格道路十字連携軸の整備促進に向けて！



基調講演：菊池 輝 教授



(左から意見発表者：庄司 正人 氏 高橋 裕 氏 栗田 香澄 氏)

11月24日、新庄市民文化会館において、第22回「最上を拓く高規格道路」建設促進合同大会を、最上地域の市町村長や県議会議員など、約500名の方にご出席いただき開催しました。

大会では東北工業大学 都市マネジメント学科の菊池輝 教授による「街路空間の変容と都市のかたち みちとまちの物語」と題した基調講演の後、地域で活躍する3名の方から、高規格道路の必要性や早期整備を期待する思いなどを意見発表いただきました。その後、広域交流・連携に不可欠な高規格道路網の早期整備を要望する大会決議を満場一致で採択しました。今後も東北中央自動車道、新庄酒田道路、石巻新庄道路による「高規格道路十字連携軸」の整備促進に向け、地域の機運醸成を図ってまいります。

[建設総務課 29-1391]

## 心豊かな成長を願って「山形県青少年健全育成県民大会」を開催



10月29日、新庄市民プラザを会場に、山形県青少年健全育成県民大会が開催されました。これは、山形県の次代を担っていく青少年が、人間性・社会性豊かに成長することを願い、毎年開催されているもので、最上地域での開催は4年ぶりになります。

大会では、「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動優秀標語等の表彰が行われたほか、「青少年が心身ともに健やかに、人間性・社会性豊かに成長することは、県民すべての願いであり、青少年が豊かな個性と能力を培い、未来に

夢と希望を持って自立した人間として成長できるよう、私たち大人は青少年の思いをしっかり受け止め、青少年の生きる力を育てていく必要がある」ことを誓う大会宣言が採択されました。また、大会第二部では「いじめ・非行防止セミナー」が開催され、第62回山形県少年の主張大会最優秀賞受賞者の酒田市立第一中学校3年富樫蒼汰さんから「大切な家族」が発表され、最上町青少年育成町民会会長の菅孝氏が「地域社会と青少年とが関わり合うことで豊かな心を育む」と題し事例発表を行いました。

[子ども家庭支援課 29-1221]



## 最上農業賞受賞おめでとうございます

11月14日、ニューグランドホテルにおいて、最上農業賞表彰式（最上地域農業・畜産振興協議会主催）が開催され、「組織活動部門」で金山町新産地開発協議会が表彰を受けました。

金山町新産地開発協議会は、地元の堆肥を活用して高品質な落花生生産に取り組んでいます。生産した落花生を、「美しい町で育つビューティフルなピーナッツ」という意味を込めて「ピーナッツ」と名付け、地域の企業と連携して様々な加工品開発を行っています。

また、福祉サービス事業者との農福連携や地元小学校での食農教育など、多岐にわたる活動により農業と食の魅力を発信し、地域の活性化に大きく貢献されました。

表彰式後は、山崎農業経済研究所所長 山崎政行氏による「地域農業の将来を考える経営継承について」と題した記念講演会が開催され、農業経営の親子間継承や第三者継承など地域農業を次世代につないでいく方法とポイントについての講演をいただきました。

[農業技術普及課 29-1322]





## 県内最大の花のイベントを開催



10月13日～15日、新庄市の“すぽーていあ”において、「やまがたフラワーフェスティバル 2023」を開催しました。

13日の品評会では、県内各地域の花き農家が丹精込めて栽培した224点の出品があり、安彦力氏（鮭川村）のりんどうが最優秀賞（農林水産大臣賞）に選ばれました。



「次世代への花育」  
農林大の寄せ植え体験



ミニブーケを持って  
フォトスポットで記念撮影

14、15日の一般公開では、花の展示即売会をはじめ寄せ植えやミニブーケづくり、地元幼稚園児が制作した花の絵の展示等を行いました。



（農林水産大臣賞）

来場者は、花のクイズスタンプラリーに挑戦したり、最上地域の花をふんだんに使ったフォトスポットで撮影したりと花を存分に楽しまれ、県産花の魅力をPRできました。

[農業振興課 29-1315]

## 最上地域の豊かな暮らしをPR



10月15日、東京都で山形県最上地域移住セミナー「ハッピーライフカフェ最上」を開催しました。当日は、真室川町でいていねいな暮らしを実践している高橋喜久子氏をトークゲストにお招きし、山菜の塩漬けやいぶし大根作りなど、冬を乗り越えるために生まれた暮らしの知恵や工夫などをお話いただきました。参加者からは、「自然の厳しさを豊かさに変えて生きていく力強さを感じた。」「市町村ごとに自慢があり、体験してみたいと思った。」などの感想があり、移住希望者に向け、最上地域の暮らしの豊かさをPRすることができました。



続けて、11月26日には、同じく東京都で開催された「やまがた移住・交流フェア」に、最上地域からもブースを出展し、移住を考えている方と直接お話ししながら、仕事や住まいなど、移住に関する疑問や悩みにお答えしました。今後もオール最上で移住を希望する皆さんをサポートしてまいります。



[連携支援室 29-1239]

## 第100回最上夜学を開催しました

11月10日、新庄市エコロジーガーデンにおいて、第100回「最上夜学」を開催しました。

最上夜学は、最上地域の企業活動及び地域経済の活性化や雇用の拡大につながることを目的に、企業と高等教育機関による産学官連携のきっかけ作りの場として、平成15年度から開催している事業で、今回記念すべき第100回を迎えることができました。

第100回はテーマを「つなぐ力で山形を元気に」と題し、山形大学・鶴岡工業高等専門学校の高橋幸司名誉教授のオープニングスピーチを皮切りに、鶴岡工業高等専門学校の上條利夫教授、山形大学工学部の遠藤昌敏教授から、それぞれ、これまでの最上夜学との繋がりと、産学官連携の意義と成果について高等教育機関の立場から、また、株式会社山形メタルの今田弘明取締役部長から産学官連携によって生まれた、世界初完全無機塗料技術の開発について、事業者の立場からお話していただきました。

最上総合支庁では、これからも産業の発展につながるよう、最上夜学をはじめ、様々な事業に取り組みます。



[地域産業経済課 29-1307]

## ～新庄・最上ジモト大学関連事業～

### 高校生が教えるジモトの魅力 ジモト大学オープンキャンパス開催！



11月11日、新庄市教育の日コスモスデーにあわせて、「新庄・最上ジモト大学オープンキャンパス2023」を開催しました。

当日は、実際のプログラムの中で高校生が地域課題を検討した内容や活動に関するパネル等の展示を行ったほか、今年度のプログラムに参加した高校生から説明を受けながら、来場者の皆さんに手話とモルックの体験をしていただきました。また、障がいへの理解を深める活動を行っている高校生グループ「たんぽぽくらぶ」が企画したプログラム（障がいの感覚体験）も実施され、多くの高校生にご参加いただきました。

小さなお子さんから大人までたくさんの方にご来場いただき、ジモト大学の楽しさ、地域の魅力を知っていただく機会となりました。

今後もさらにジモト大学の活動の輪を広げていけるよう取り組んでまいります。

[連携支援室 29-1236]



### ふるさとをまもり未来をつくる土木技術者のはなし



10月26日、新庄神室産業高校を会場に、地元の高校生21名（神室産業高校2年生18名、新庄東高校1年生2名及び2年生1名）が参加し、新庄・最上ジモト大学「ふるさとをまもり未来をつくる土木技術者のはなし」を開催しました。

第1部のパネルディスカッションでは、最上地域で意欲的に建設業に携わる若者4名から、写真とリアルな会話で仕事の充実感・やりがい・夢などを紹介していただき、第2部の意見交換では、進路選択を控えた高校生が、地元で働く山形県建設業協会最上支部青年部員の方々と職場環境などについて話し合いました。

[建設総務課 29-1391]

### 親子で参加する進路選択セミナー開催

11月17日に新庄神室産業高校、11月18日に新庄南高校で1年生の保護者・生徒を対象に進路選択セミナーを開催しました。

新庄神室産業高校では合同会社 work life shift 代表の伊藤麻衣子先生を講師に迎え、「これからを生きる高校生のキャリアデザイン～親世代と今の世代の違い～」と題しご講演をいただいた後、同高校を卒業した3人の先輩社会人を迎え「新庄・最上のくらしと仕事～私たち、最上で働く未来を選びました～」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

新庄南高校では、山形大学学士課程基盤教育院 松坂暢浩教授を講師に迎え、「高校生のキャリアデザイン入門～親子で学ぶ進路選択～」と題しご講演をいただいた後、株式会社新庄砕石工業所の柿崎尭管理部長と高島ゆきな氏から情報提供をいただきました。

将来やりたいことは知っていることなかからしか選べません。地域の企業や採用状況の変化などにも目を向け、納得する進路を選びましょう。[地域産業経済課 29-1309]



(写真上) 新庄神室産業高校 (写真下) 新庄南高校

## 最上地域みんなで子育て応援団 「R5～みんないっしょ～親子でスポーツ！」を開催！

11月4日、最上中央公園内の“すぽーていあ”で、「～みんないっしょ～ 親子でスポーツ！」を開催しました。昨年まではオンライン開催でしたが、4年ぶりに参加者64名全員が1つの会場に集まり、運動あそびや、ヨガ、流行りの曲に合わせたダンスなど、親子で楽しく体を動かしました。

参加者からは、「子どもと一緒に思い切り走って気持ち良かった。」、「恥ずかしさも忘れて夢中でダンスをしてとても楽しかった。」、「気分転換になり気持ち良かった。」などの感想をいただきました。

「最上地域みんなで子育て応援団」では、今後も親子で楽しめる様々なイベントを開催していきます。皆様のご参加をお待ちしています。  
[子ども家庭支援課 29-1245]



## ～男女共同参画～ 誰もが主役輝く最上のひとづくりシンポジウム

11月19日、“ゆめりあ”を会場に「誰もが主役輝く最上のひとづくりシンポジウム」を開催しました。

当日は34名の皆様からご参加いただき、株式会社さくらプランニング 工藤恵子氏をコーディネーターに迎え、雪と暮らし舎 佐藤萌以氏、大蔵コッペパン 佐藤奈緒氏、熊谷伊兵治ナメコ生産所 熊谷由美子氏、読み聞かせサークル「くれよん」 山崎里美氏をパネリストに、これまでの活動のきっかけ、人との出会い、おもしろさ、苦労した点などをお話いただきました。

後半はパネルディスカッションを通し、今後の活動や展望をお話いただき、最上地域でいきいきと活躍する姿を多くの方に知っていただくことができました。

[子ども家庭支援課 29-1245]



## 令和5年度最上食産業創出セミナーを開催しました

最上総合支庁では、最上地域の新たな「売れる商品」の創出を目的に、令和4年度から食産業創出セミナーを開催しています。

10月26日にアークユマリエ TAMAHIME において開催された第1回セミナーでは、摂南大学の野長瀬裕二教授の進行で、秋田県羽後町の株式会社羽後麦酒 代表取締役 斎藤隆弘氏、岩手県奥州市の株式会社水沢米菓 代表取締役 佐藤貴之氏、金山町新産地協議会 会長 青柳栄一氏から先進事例の発表をして頂き、終了後の交流会では参加者同士の交流によって地域を越えた繋がりを作ることができました。

また、11月14日にわくわく新庄研修室で開催された第2回セミナーでは、INPI T 山形県知財総合支援窓口との共催で、講師に合同会社エージェンツスタイル代表の白石展子先生を迎えて長く愛される商品づくりや仕掛けづくりについてお話していただきました。終了後の個別相談会では、参加した事業者の皆さんが、商品の販路や方向性について相談していただきました。



[地域産業経済課 29-1307]



# お知らせ



## 県立新庄病院患者図書室で健康づくり情報を発信

図書室に設置したデジタルサイネージで健康づくりの参考になる情報をご覧いただけますので、来院の際はぜひお立ち寄り下さい。

### 【12月の動画配信（参考）】

- 冬のおふるは危険がいっぱい
- 保育園の「おいしい給食」紹介
- 健康長寿のためのレシピ紹介
- お口を清潔に  
～インフルエンザ予防～



[地域健康福祉課 29-1267]

## 新庄・最上ジモト大学ミーティング 2023 開催！

今年度も多彩なプログラムが実施されたジモト大学。地域の皆さんに取組みを知っていただき、活動の輪をさらに広げていけるよう、高校生やプログラムに協力いただいた皆さんと一緒に、今年度のジモト大学を振り返る「新庄・最上ジモト大学ミーティング 2023」を開催します。

どなたでも参加できますので、ぜひお気軽にご参加ください。

日時：12月23日（土）  
13:30～16:00

場所：ゆめりあ2階 会議室

[連携支援室 29-1236]



申込はこちらから



## 雪害事故防止研修会

毎年発生してしまう、転落や落雪、除雪機等による雪害事故を防止するための研修会を開催します。

研修会では、雪害研究の専門家による雪害防止の先進的取組みのお話や、小型除雪機の安全運転の実演指導を行う予定です。

小型除雪機の購入を考えている方、既に利用している方をはじめ、雪害事故防止について関心のある方、是非ご参加ください。

日時：令和6年1月31日（水）13:30～15:30

場所：最上総合支庁 農村整備課2階  
（新庄市大字松本 412-17）

[防災安全室 29-1209]



## 道路除雪作業についてのお願い

### ○深夜・早朝の除雪作業にご理解を！

通勤通学時間にあわせるため早朝や深夜に行うことがあります。

### ○道路に雪を捨てないで！

道幅が狭くなり、スリップや歩行者との接触事故の原因になります。

### ○寄せ雪処理にご協力を！

ご家庭やご近所で協力し合い除雪後の寄せ雪処理をお願いします。

### ○流雪溝の投雪ルールを守りましょう！

地区で決められたルールを守り、作業後は必ず蓋を閉めましょう。 [道路計画課 29-1397]

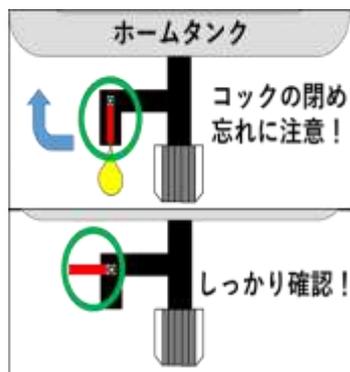
## 油流出事故に注意！

冬は暖房器具に灯油を使用するため灯油が側溝や河川に流出する事故が増える傾向にあります。

ホームタンクから給油を行う場合は、その場を離れない、給油後は元栓を再確認、タンク残量の定期的な確認等、取扱いに注意しましょう。

最上地域のきれいな河川を守りましょう。

[環境課 29-1286]



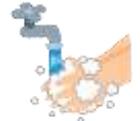
## ノロウイルス食中毒にご用心！

ノロウイルスによる食中毒は一年を通じて発生していますが、特に冬の寒い時期に多発し、家庭での食事でも発生します。次のポイントに注意して、ノロウイルスによる食中毒を防ぎましょう。

### <予防のポイント>

- 調理をする人の健康管理  
症状があるときは、食品を扱う作業を避ける。
- 調理前などの手洗いの徹底  
トイレの後、調理前などこまめに手を洗う。
- 食品の十分な加熱調理  
食品を中心までしっかり加熱する。

[生活衛生室 29-1260]



発行日：令和5年12月19日

発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課

総合案内窓口

電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605



X (旧 Twitter)

